

広報 にいかつぶ

2018

6

No 623



～新冠中学校体育祭～

5月26日、新冠中学校で多くの声援
の中、白熱した競技が繰り広げられました。



新冠町人事行政の運営等の状況の公表について

●問い合わせ先 総務課総務グループ 総務係 (0146・47・2497)

(4) 職員手当の状況(平成29年度)

手当名	内容	手当名	内容
扶養手当 (毎月支給)	○配偶者 月額 10,000円 ○扶養親族(配偶者を除く) 1人につき 月額 8,000円 ※満16~22歳の子ども一人当たり 5,000円加算	期末手当 勤勉手当 (6・12月支給)	勤勉手当 6月期 1.225月 0.85月 12月期 1.375月 0.95月 計 2.6月 1.8月 職制上の段階、職務の級による役職加算(5~15%)あり
住居手当 (毎月支給)	○借家の場合、家賃に応じて月額 27,000円を限度に支給(月額 12,000円を超える者に限る) ○持ち家の場合、月額 7,500円を支給	寒冷地手当 (11~3月支給)	○寒冷地に在勤し、常時勤務に服する職員に支給される手当で扶養親族の人数に応じて支給額(年額) 44,000円~116,800円
通勤手当 (毎月支給)	○交通機関などを利用する場合、運賃に応じ月額 55,000円を限度に支給 ○自家用車を利用する場合、通勤距離に応じて月額 2,000円~31,600円の範囲で支給(いずれも片道2km以上の者に限る)	特殊勤務手当 (勤務実績)	○著しく危険、不健康、その他特殊な勤務についたときに支給 ・夜間看護手当 1回の勤務時間に応じ 2,000円~6,800円 ・X線手当 1日 230円
管理職手当 (毎月支給)	○管理又は監督の地位にある職員に支給 課長相当職(6級) 51,900円 〃(5級) 49,600円 総括主幹相当職(5級) 34,700円 〃(4級) 32,400円	時間外勤務手当 (勤務実績)	○正規の勤務時間を超えて勤務することを命ぜられた職員に支給
		宿日直手当 (勤務実績)	○宿直勤務、日直勤務を命ぜられた職員に支給 ・医師 1回につき 15,000円 ・その他 1回につき 4,200円以下

(5) 特別職の報酬などの状況

職名	月額	期末手当
町長	720,000円	6月期 1.60月
副町長	600,000円	12月期 1.75月
教育長	560,000円	計 3.35月

職名	月額	期末手当
議長	280,000円	6月期 1.0月
副議長	230,000円	12月期 2.0月
常任委員長	210,000円	計 3.0月
議会運営委員長	210,000円	
議員	205,000円	

3 職員の勤務時間その他勤務条件の状況

(1) 勤務時間

始業・終業時刻	8時30分~17時15分
休憩時間	12時~13時

(2) 育児休業及び介護休暇の所得状況(平成29年度)

区分	育児休業	育児部分休業	介護休暇
男性職員	-	-	-
女性職員	4人	-	-

始業・終業時刻	年次有給休暇、病気休暇、特別休暇、介護休暇、組合休暇
有給休暇付与日数	年間20日を付与 (前年残日数を繰り越し、年40日を限度) 平成29年平均使用日数 9.25人

4 職員の分限及び懲戒処分の状況

(1) 分限処分

処分の種類	免職	休職	後任
人 数	-	-	-

(2) 懲戒処分

処分の種類	免職	停職	減給	戒告
人 数	-	-	-	-

5 職員の研修状況

研修名	内容	参加人数
職員基礎研修(日高町村会)	新規採用職員として必要な基礎知識の取得	7人
初級研修(胆振・日高町村会)	採用2年目職員として必要な知識の取得	2人
中級研修(胆振・日高町村会)	採用3~4年目職員として資質の向上を図る	4人
市町村アカデミー研修	自治政策課題に関する高度な専門研修	2人
自治大学校研修	実践的かつ高度な専門知識の取得	1人
北海道派遣研修	実践的かつ高度な専門知識の取得	-
管理・指導能力研修(市町村職員研修センター)	管理・監督者として必要な知識の取得	6人
その他研修(町村会など)	法務基礎・応用研修など	7人



新冠町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、平成29年度人事行政の運営等の状況を公表します。

で

あります。
給与については、民間企業の給与水準を適正に反映させている国家公務員の給与(人事院勧告)に準じ、議会の審議を経て条例により決定しております。

なお、平成29年度の一般行政職の給与水準(ラスパイレス指数)は、国家公務員を100とすると新冠町職員は96.4となっております。

1 職員の任免及び職員数に関する状況

区分	平成29年度職員数		29年度中採用者数	29年度中人事異動	29年度中退職者数	30年度採用者数	30年度中人事異動	30年度当初職員数	30.4.1現在
	29.4.1現在	うち新規採用							
特別職	3人	-	3人	-	3人	-	-	-	3人
町長部局	76人	3人	1人	-	4人	-	2人	-	1人
教育委員会	34人	3人	1人	-	2人	-	5人	-	▲1人
議会事務局	2人	-	-	-	-	-	-	-	2人
農業委員会	2人	-	-	-	-	-	-	-	2人
簡易水道会計	1人	-	-	-	-	-	-	-	1人
下水道会計	1人	-	-	-	-	-	-	-	1人
介護サービス会計	24人	-	3人	-	1人	-	-	-	26人
診療所会計	11人	-	1人	-	1人	-	3人	-	14人
合計	154人	6人	9人	-	11人	-	10人	-	162人

年齢別職員構成の状況(平成30年4月1日現在)										
年齢構成	20歳未満	20歳以上25歳未満	25歳以上30歳未満	30歳以上35歳未満	35歳以上40歳未満	40歳以上45歳未満	45歳以上50歳未満	50歳以上55歳未満	55歳以上60歳未満	60歳以上
職員数	-	9人	18人	20人	26人	39人	22人	12人	12人	4人

2 給与費の状況

(1) 給与支払額(平成29年度決算見込み)

職員数(A)	給与費				一人当たり給費(B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	寒冷地手当	
142人	499,036千円	88,136千円	195,007千円	12,235千円	794,414千円

*特別職、医師、育児休業職員、中途採用者、中途退職者などを除く

(2) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢

区分	一般行政職(平成29年4月1日現在)		
平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	

<tbl_r cells="2" ix="1" maxcspan="3" maxr

平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を詳細に分析した「北海道版結果報告書」が公表されましたので、当町の小中学校における調査結果についてお知らせします。



平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

文部科学省では、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施しております。

当町におきましても、小学校5年生・中学校2年生を対象に実施しましたので結果を報告します。

1 調査の実施時期

平成29年4月～7月末日

2 調査の対象児童・生徒数（小学校2校・中学校1校）

小学校第5学年	男子 28名	女子 35名
		合計 63名
中学校第2学年	男子 23名	女子 20名
		合計 43名

3 調査内容

(1) 実技に関する調査

小学校調査 (8種目)	握力・上体起こし・長座体前屈 反復横とび・20mシャトルラン 50m走・立ち幅とび・ソフトボール投げ
中学校調査 (8種目)	握力・上体起こし・長座体前屈 反復横とび、20mシャトルラン 持久走・50m走・立ち幅とび ハンドボール投げ ※中学校は持久走または20mシャトルランのどちらかを選択

- (2) 運動習慣、生活習慣などに関する児童・生徒向け質問紙調査
 - (3) 子どもの体力向上に係る学校の取り組みなどに関する学校・教育委員会向け質問紙調査
- #### 4 調査結果
- 実技調査における8種目の総合を示す体力合計点については、小学5年生男女ともに、全国平均と「同等」であり、中学2年生男女については全国より「やや高い」結果がありました。
 - 町教育委員会では、平成29年度に実施した調査の結果を基に、今後の体力向上施策の充実と各学校の体育・健康などに関する指導の改善・充実に向けて取り組みを進めるとともに、保護者の方や町民の皆さんに子どもたちの健康や体力に関心を持ってもらい、子どもの体力向上に向けてご協力いただくため、調査結果及び分析結果を公表します。
 - なお、本調査により測定できるのは、体力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。



新冠町の体力向上に向けての取り組み

当町では、体力向上に向けて以下の取り組みを進めて行きます。

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実技結果における上位市町村の取り組みの導入
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び実技結果に基づく検証改善サイクルの確立
- 体力向上に向けたこども園、小・中学校における縄跳びを活用した取り組みの実施
- マラソンや股関節ダイナミックストレッチなどの1校1実践の取り組みの充実



実技調査結果

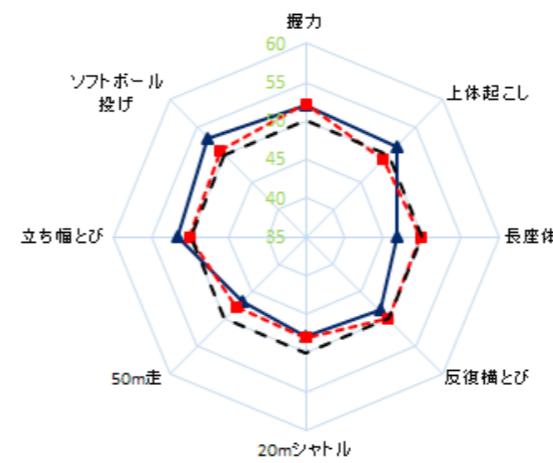
全国を50としたときの数値（T得点）をレーダーチャートで表示

【小学校】

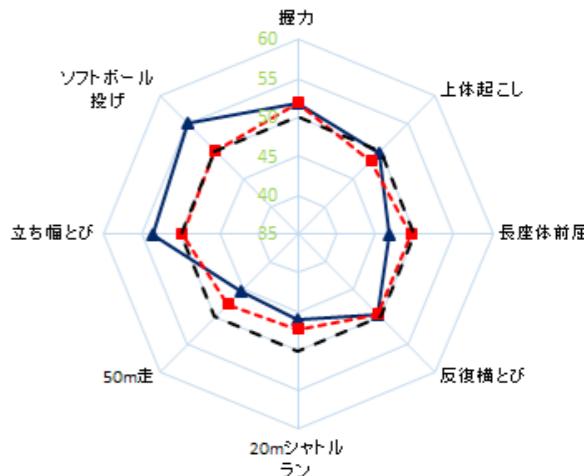
男子は「握力・上体起こし・立ち幅とび・ソフトボール投げ」の4種目で、女子は「握力・立ち幅とび・ソフトボール投げ」の3種目で、全国を上回っております。新冠・朝日小学校とともに、体育授業の目標を児童に示す活動や学習したことを振り返る活動を積極的に取り入れるなど、授業改善を推進した効果が現れております。

■ H29新冠町
■ H29北海道
■ H29全国

【小学5年生男子】



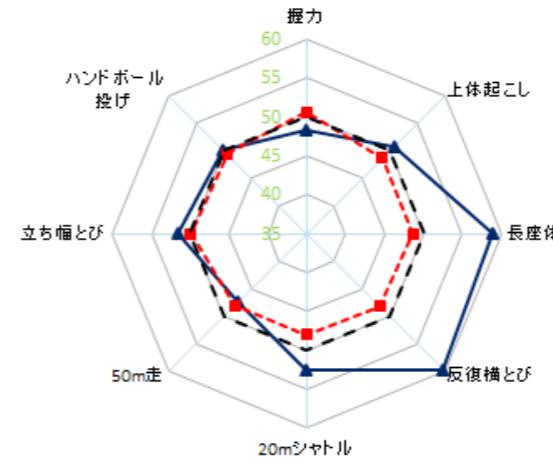
【小学5年生女子】



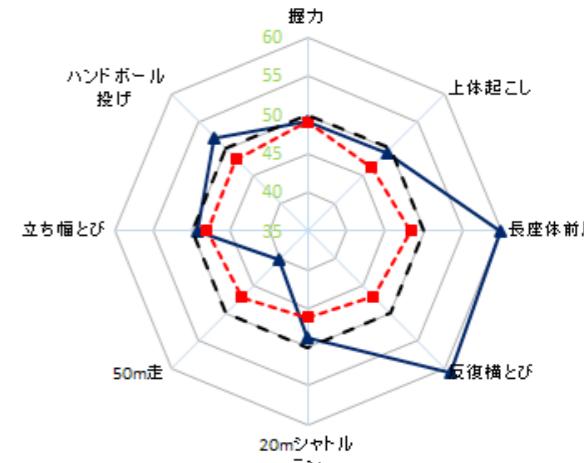
【中学校】

男子は「上体起こし・長座体前屈・反復横とび・20mシャトルラン・立ち幅とび・ハンドボール投げ」の6種目で、女子は「長座体前屈・反復横とび・ハンドボール投げ」の3種目で、全国を上回っております。学校が保健体育授業の目標を生徒に示す活動や生徒同士が助け合い、役割を果たす活動を積極的に取り入れるなど、授業改善を推進した効果が現れています。

【中学2年生男子】



【中学2年生女子】



新冠中学校の体力向上の取り組み

今回は実技調査の結果が特に良かった新冠中学校の体力向上の取り組みをご紹介致します。

新冠中学校では、保健体育授業の改善を図るために、陸上競技や器械運動を行う前に「関節のダイナミック・ストレッチ」に加え、跳躍力やスピードを高める「SAQ（スピード・俊敏性・反応能力）トレーニング」の取り組みをしております。単元に応じた補助運動を取り入れることで、生徒が自主的・意欲的に授業に参加するようになりました。

取り組みの成果として、実技調査（全学年・全種目）の経年変化を分析した結果、特に反復横とびの数値の向上が見られております。



●問い合わせ先：教育委員会管理課
管理グループ ☎ 0146・47・2547

にいかつぶ地場産品即売会

in 道の駅サラブレッドロード新冠

室工大学院生が考える 『新冠の今後』

脳の元気アップ教室 楽しみながら脳を鍛えよう！

5月3日から5日までの3日間、にいかつぶ観光協会主催による地場産品即売会が開かれました。

会場には、ソブやししゃもなどの魚介類や採れたての野菜、乳製品各種スイツなど盛りだくさんの商品が並び、町内外から訪れた来客者で賑わいました。

中でも魚介類は、大人気で長蛇の列ができ、販売開始すぐに完売しました。始後すぐに完売しました。

5月3日から5日までの3日間、にいかつぶ観光協会主催による地場産品即売会が開かれました。

この発表会は、室工大OBの字中央町さくら佐藤建設佐藤社長らが厚賀インターのエンジの開通により、利用者の増加が見込まれる道の駅周辺の利活用について、アイディアを求めたのがきっかけで行われました。

学生ら14名は4グループに分かれ、それぞれテーマを設定し、道の駅や町内観光施設の視察などを行い、学内で検討を重ねてこられ、発表会では、掲示板のレイアウト改善・SNSを活用したホーラスセラピーなど、たくさんのお話題アイディアが出されました。

5月16日、室蘭工業大学大学院環境建築学コースの学生による『新冠町・地域課題解決プロジェクト』発表会が役場会議室で開かれました。

この日は、保健福祉課職員

により、認知症の予防に関する講話と脳を鍛えるための地名連想ゲームや指体操などを行いました。

この事業は、町内の生活館など8カ所の会場で行われ、平成31年1月までに年5回の実施を予定しています。

5月6日、東京競馬場で行われた第23回NHKマイルカップで、字高江の隆栄牧場で生産されたケイアイノーテック号が、並みいる強敵を鋭い末脚で差し切り、見事優勝を果たしました。

当町生産馬のJRA・G1制覇は、平成27年の有馬記念以来の快挙で、レース後には、鳴海町長はじめ多くの牧場関係者が駆けつけ、歓喜の渦に包まれました。

GI・NHKマイルカップ優勝 ケイアイノーテック号強豪撃破！



コミュニティ・スクール 推進委員会及び研修会の開催

5月14・15日の2日間にわたり新冠町コミュニティ・スクール研修会開かれました。

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域のみなさんがともに知恵を出し合えることで、協働で子どもたちの成長を支える学校づくりを目指すもので、町教育委員会では、平成31年度導入に向け準備を進めています。

字北星町 小竹 国昭さん 旭日双光章を受章

このたび、字北星町の小竹國昭さんが旭日双光章を受章され、5月8日、札幌市内のホテルで高橋知事より、勲記と勲章が伝達されました。



新冠町自治会長等 永年勤続表彰式



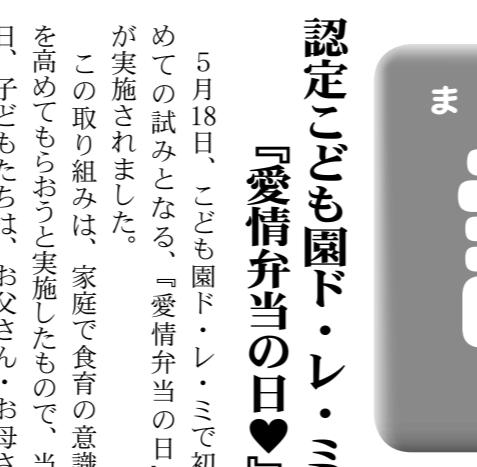
5月17日、本町多目的交流センターで、新冠町自治会連合会主催による、新冠町自治会長等永年勤続表彰式が行われ、次の方々が表彰されました。

○自治会役員30年表彰
・梅澤 淳一（北星自治会）
○自治会役員10年表彰
・山本 了一・徳田 利則
・明石 和美（節婦自治会）
・工藤 清吾・三宅 篤正
・猪股 千恵子・長谷川 誠
・川端 久美子（東町自治会）

5月14・15日の2日間にわたり新冠町コミュニティ・スクール研修会開かれました。

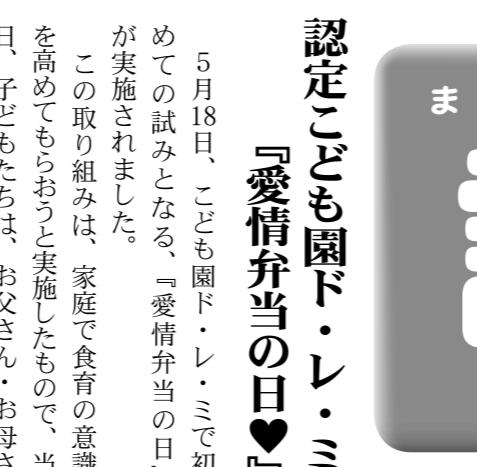
この事業は、町内の生活館など8カ所の会場で行われ、平成31年1月までに年5回の実施を予定しています。

5月18日、こども園ド・レ・ミで初めての試みとなる、『愛情弁当の日』が実施されました。



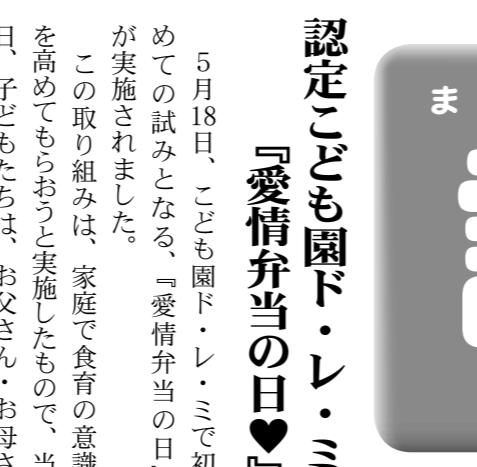
この取り組みは、家庭で食育の意識を高めてもらおうと実施したもので、当日、子どもたちは、お父さん・お母さんが作った手作りのお弁当を大切に持つて登園し、待ちに待った昼食の時間には、お弁当を開けた瞬間、笑顔が溢れ、みんなで楽しくお弁当を完食しました。

このたび、字北星町の松平峰雄さんが瑞宝双光章を受章され、5月8日、札幌市内のホテルで高橋知事より、勲記と勲章が伝達されました。



松平さんは、昭和45年4月に町国保病院に就職して以来、放射線技師長や苦小牧技師長などの重役を担い、49年間にわたり、地域医療の発展に尽力されたことが評価され、今回の受章となりました。

このたび、字北星町の松平峰雄さんが瑞宝双光章を受章され、5月8日、札幌市内のホテルで高橋知事より、勲記と勲章が伝達されました。

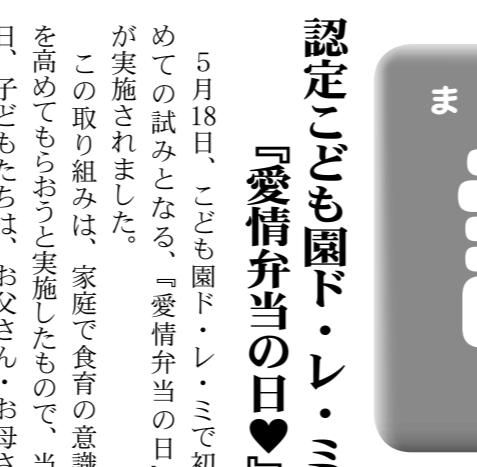


5月27日、字美宇の鎌田博さん宅の水田で比宇川流域環境保存会が毎年恒例の『田植え祭り』を行いました。

当日は、晴天に恵まれ90名の参加者が集まり、鎌田さんから苗の植え方を教わった後、泥まみれになりながら、みんなで楽しく苗植えを行いました。

今回植えた苗は、9月30日に予定している『収穫祭』で収穫を行う予定です。

このたび、字北星町の松平峰雄さんは、昭和45年4月に町国保病院に就職して以来、放射線技師長や苦小牧技師長などの重役を担い、49年間にわたり、地域医療の発展に尽力されたことが評価され、今回の受章となりました。

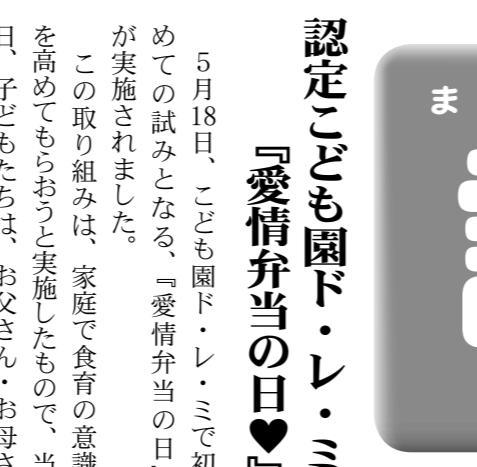


5月27日、字美宇の鎌田博さん宅の水田で比宇川流域環境保存会が毎年恒例の『田植え祭り』を行いました。

当日は、晴天に恵まれ90名の参加者が集まり、鎌田さんから苗の植え方を教わった後、泥まみれになりながら、みんなで楽しく苗植えを行いました。

今回植えた苗は、9月30日に予定している『収穫祭』で収穫を行う予定です。

このたび、字北星町の松平峰雄さんは、昭和45年4月に町国保病院に就職して以来、放射線技師長や苦小牧技師長などの重役を担い、49年間にわたり、地域医療の発展に尽力されたことが評価され、今回の受章となりました。

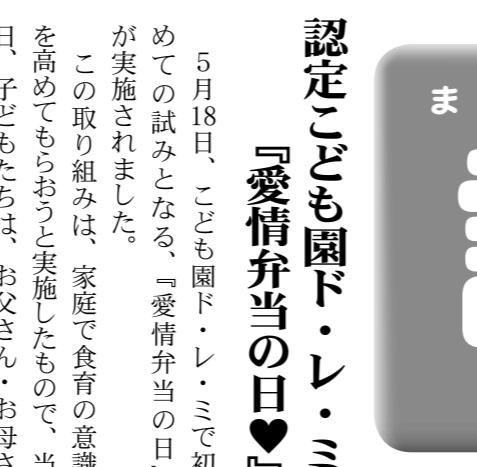


5月27日、字美宇の鎌田博さん宅の水田で比宇川流域環境保存会が毎年恒例の『田植え祭り』を行いました。

当日は、晴天に恵まれ90名の参加者が集まり、鎌田さんから苗の植え方を教わった後、泥まみれになりながら、みんなで楽しく苗植えを行いました。

今回植えた苗は、9月30日に予定している『収穫祭』で収穫を行う予定です。

このたび、字北星町の松平峰雄さんは、昭和45年4月に町国保病院に就職して以来、放射線技師長や苦小牧技師長などの重役を担い、49年間にわたり、地域医療の発展に尽力されたことが評価され、今回の受章となりました。

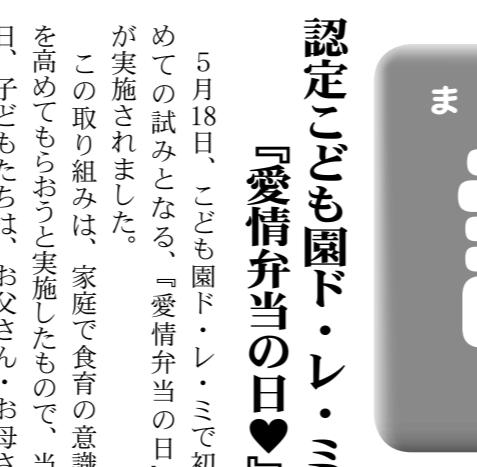


5月27日、字美宇の鎌田博さん宅の水田で比宇川流域環境保存会が毎年恒例の『田植え祭り』を行いました。

当日は、晴天に恵まれ90名の参加者が集まり、鎌田さんから苗の植え方を教わった後、泥まみれになりながら、みんなで楽しく苗植えを行いました。

今回植えた苗は、9月30日に予定している『収穫祭』で収穫を行う予定です。

このたび、字北星町の松平峰雄さんは、昭和45年4月に町国保病院に就職して以来、放射線技師長や苦小牧技師長などの重役を担い、49年間にわたり、地域医療の発展に尽力されたことが評価され、今回の受章となりました。

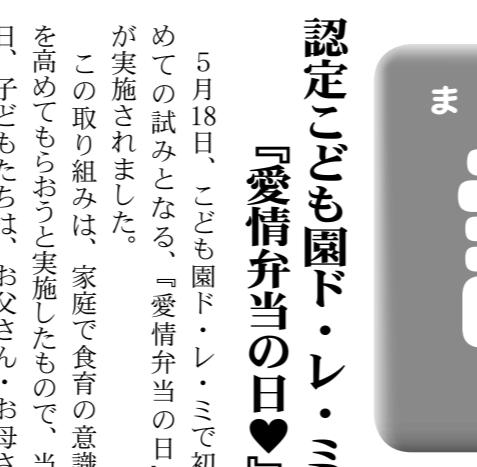


5月27日、字美宇の鎌田博さん宅の水田で比宇川流域環境保存会が毎年恒例の『田植え祭り』を行いました。

当日は、晴天に恵まれ90名の参加者が集まり、鎌田さんから苗の植え方を教わった後、泥まみれになりながら、みんなで楽しく苗植えを行いました。

今回植えた苗は、9月30日に予定している『収穫祭』で収穫を行う予定です。

このたび、字北星町の松平峰雄さんは、昭和45年4月に町国保病院に就職して以来、放射線技師長や苦小牧技師長などの重役を担い、49年間にわたり、地域医療の発展に尽力されたことが評価され、今回の受章となりました。

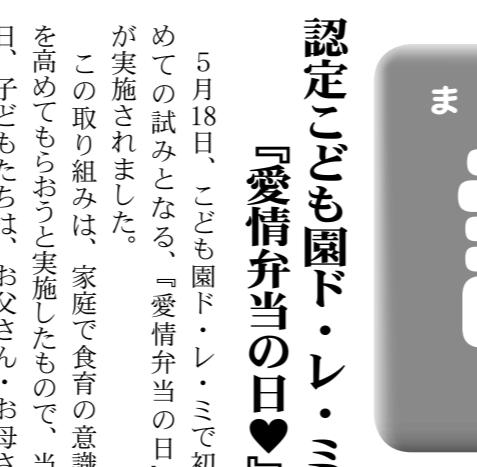


5月27日、字美宇の鎌田博さん宅の水田で比宇川流域環境保存会が毎年恒例の『田植え祭り』を行いました。

当日は、晴天に恵まれ90名の参加者が集まり、鎌田さんから苗の植え方を教わった後、泥まみれになりながら、みんなで楽しく苗植えを行いました。

今回植えた苗は、9月30日に予定している『収穫祭』で収穫を行う予定です。

このたび、字北星町の松平峰雄さんは、昭和45年4月に町国保病院に就職して以来、放射線技師長や苦小牧技師長などの重役を担い、49年間にわたり、地域医療の発展に尽力されたことが評価され、今回の受章となりました。

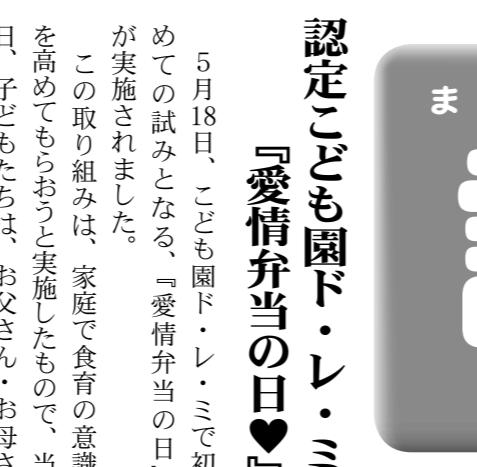


5月27日、字美宇の鎌田博さん宅の水田で比宇川流域環境保存会が毎年恒例の『田植え祭り』を行いました。

当日は、晴天に恵まれ90名の参加者が集まり、鎌田さんから苗の植え方を教わった後、泥まみれになりながら、みんなで楽しく苗植えを行いました。

今回植えた苗は、9月30日に予定している『収穫祭』で収穫を行う予定です。

このたび、字北星町の松平峰雄さんは、昭和45年4月に町国保病院に就職して以来、放射線技師長や苦小牧技師長などの重役を担い、49年間にわたり、地域医療の発展に尽力されたことが評価され、今回の受章となりました。

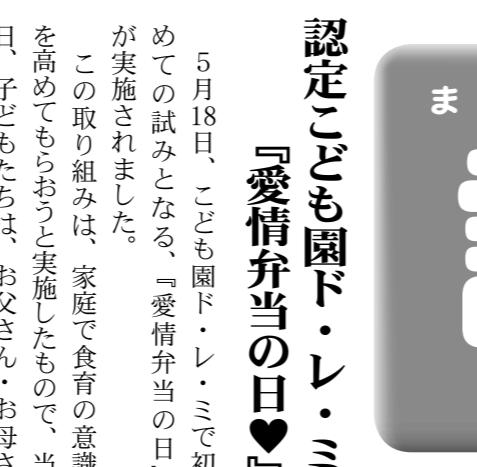


5月27日、字美宇の鎌田博さん宅の水田で比宇川流域環境保存会が毎年恒例の『田植え祭り』を行いました。

当日は、晴天に恵まれ90名の参加者が集まり、鎌田さんから苗の植え方を教わった後、泥まみれになりながら、みんなで楽しく苗植えを行いました。

今回植えた苗は、9月30日に予定している『収穫祭』で収穫を行う予定です。

このたび、字北星町の松平峰雄さんは、昭和45年4月に町国保病院に就職して以来、放射線技師長や苦小牧技師長などの重役を担い、49年間にわたり、地域医療の発展に尽力されたことが評価され、今回の受章となりました。

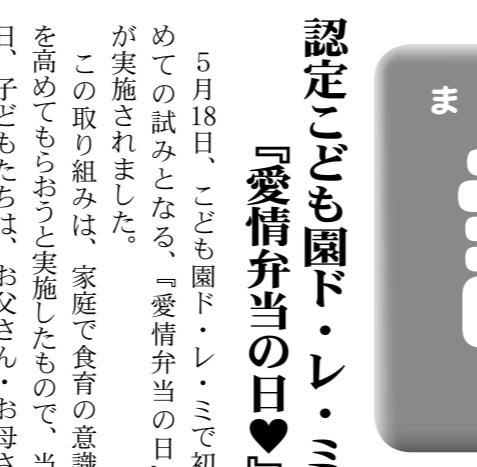


5月27日、字美宇の鎌田博さん宅の水田で比宇川流域環境保存会が毎年恒例の『田植え祭り』を行いました。

当日は、晴天に恵まれ90名の参加者が集まり、鎌田さんから苗の植え方を教わった後、泥まみれになりながら、みんなで楽しく苗植えを行いました。

今回植えた苗は、9月30日に予定している『収穫祭』で収穫を行う予定です。

このたび、字北星町の松平峰雄さんは、昭和45年4月に町国保病院に就職して以来、放射線技師長や苦小牧技師長などの重役を担い、49年間にわたり、地域医療の発展に尽力されたことが評価され、今回の受章となりました。

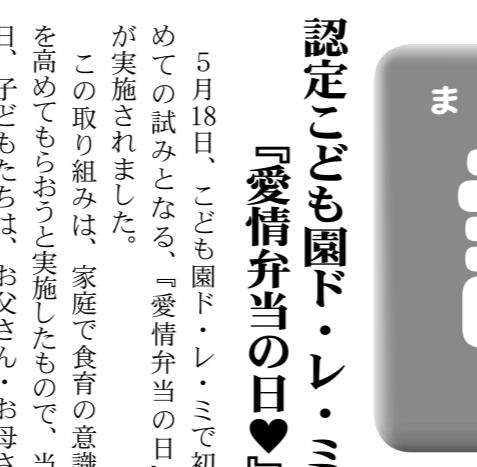


5月27日、字美宇の鎌田博さん宅の水田で比宇川流域環境保存会が毎年恒例の『田植え祭り』を行いました。

当日は、晴天に恵まれ90名の参加者が集まり、鎌田さんから苗の植え方を教わった後、泥まみれになりながら、みんなで楽しく苗植えを行いました。

今回植えた苗は、9月30日に予定している『収穫祭』で収穫を行う予定です。

このたび、字北星町の松平峰雄さんは、昭和45年4月に町国保病院に就職して以来、放射線技師長や苦小牧技師長などの重役を担い、49年間にわたり、地域医療の発展に尽力されたことが評価され、今回の受章となりました。

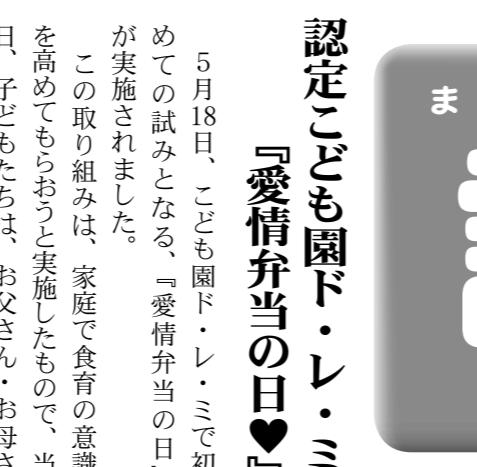


5月27日、字美宇の鎌田博さん宅の水田で比宇川流域環境保存会が毎年恒例の『田植え祭り』を行いました。

当日は、晴天に恵まれ90名の参加者が集まり、鎌田さんから苗の植え方を教わった後、泥まみれになりながら、みんなで楽しく苗植えを行いました。

今回植えた苗は、9月30日に予定している『収穫祭』で収穫を行う予定です。

このたび、字北星町の松平峰雄さんは、昭和45年4月に町国保病院に就職して以来、放射線技師長や苦小牧技師長などの重役を担い、49年間にわたり、地域医療の発展に尽力されたことが評価され、今回の受章となりました。

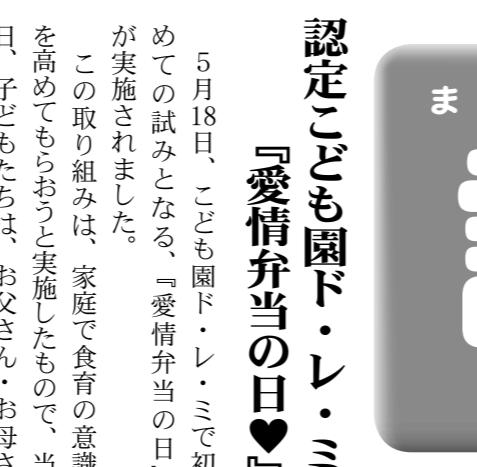


5月27日、字美宇の鎌田博さん宅の水田で比宇川流域環境保存会が毎年恒例の『田植え祭り』を行いました。

当日は、晴天に恵まれ90名の参加者が集まり、鎌田さんから苗の植え方を教わった後、泥まみれになりながら、みんなで楽しく苗植えを行いました。

今回植えた苗は、9月30日に予定している『収穫祭』で収穫を行う予定です。

このたび、字北星町の松平峰雄さんは、昭和45年4月に町国保病院に就職して以来、放射線技師長や苦小牧技師長などの重役を担い、49年間にわたり、地域医療の発展に尽力されたことが評価され、今回の受章となりました。



5月27日、字美宇の鎌田博さん宅の水田で比宇川流域環境保存会が毎年恒例の『田植え祭り』を行いました。

当日は、晴天に恵まれ90名の参加者が集まり

町民生活課からのお知らせ

～蜂の巣駆除費用の値上がりについて～

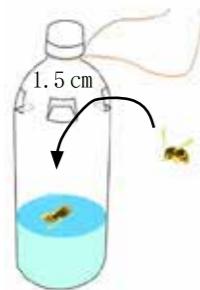
①場所	市街地・泊津・大富	その他
②駆除代金	1個 16,200円	1個 19,440円
③その他費用	高所作業代（実費） マルハナバチ・アナバチは2,000円増	
④補助金	1個 5,000円	
⑤個人負担額 (②+③-④)	1個 11,200円～	1個 14,440円～

駆除費用の値上がりにより個人負担額も増えており、経済的な蜂の巣抑制方法を紹介しますので、ぜひ試して下さい。

～蜂の巣抑制方法について～

○スズメ蜂用「誘香液」の作り方

2リットルのペットボトルに1.5cmの穴を開けて、日本酒150cc・酢20cc・砂糖50～70g・水100ccを入れ、木や軒下などに吊るすと蜂が入ります。



*誘香液の周りに蜂が飛来するため、住宅から少し離れた場所に設置しましょう。また、穴が大きいと蜂が逃げます。

- ～児童手当現況届の提出は6月中です！～
- 児童手当を受給している方は児童手当法に基づき、児童手当を引き続き受給できる要件を満たしているかを確認するため、毎年6月1日現在の状況を「現況届」で、届け出る必要があります。
- 対象者の方には、町から書類を送付していますので、6月中に届け出るようお願いします。

現況届の提出に必要な書類

- ①現況届
- ②健康保険証の写し（受給者及び配偶者）
- ③印鑑（シャチハタ不可）
- その他、状況に応じて、別途書類の提出が必要となる場合があります。
- なお、現況届を提出されないと、6月分以降の児童手当は支給できなくなります。また、所得制限に該当する方は、児童1人に対し月額5,000円の支給となります。
- 問い合わせ先：
町民生活課町民生活グループ ☎ 0146・47・2112

健康カレンダー

（お問い合わせ先：保健福祉課 ☎ 0146・47・2113）

月	日	時間	事業名	場所
6月	11(月)	13:00~16:30	フッ素塗布	保健センター
	13(水)	10:00~12:00	お喜楽☆おたっしゃ塾②	保健センター
	15(金)	① 6:30~ ② 7:30~ ③ 8:30~ ④ 9:30~ ⑤ 10:30~	特定健診 胃・肺・大腸がん検診 前立腺がん検診 肝炎ウイルス検査 エキノコックス症検査	保健センター
	16(土)			
	20(水)	10:00~12:00	お喜楽☆おたっしゃ塾③	保健センター
21(木)	18:00~20:00	からだりセット講座	保健センター	
26(火)	受付 10:00~ 受付 13:00~	4・7・12ヶ月児健康診査 1歳6ヶ月・3歳児健康診査	保健センター	
27(水)	10:00~12:00	お喜楽☆おたっしゃ塾④	レ・コード館	
7月	2(月)	10:00~11:30 13:30~15:00	脳の元気アップ教室	保健センター 節婦生活館
	4(水)	10:00~12:00	お喜楽☆おたっしゃ塾⑤	保健センター
	6(金)	10:00~11:30 14:00~15:30	脳の元気アップ教室	泊津生活館 泉生活館
	9(月)	10:00~11:30 13:30~15:00	脳の元気アップ教室	大富生活館 太陽開拓婦人ホーム
	10(火)	受付 13:10~	B C G予防接種	保健センター
	11(水)	10:00~12:00	お喜楽☆おたっしゃ塾⑥	保健センター
	12(木)	13:00~16:30	フッ素塗布	保健センター
13(金)	10:00~11:30 14:00~15:30	脳の元気アップ教室	緑丘生活センター おうるの郷	

火災の初期消火に使用した消火器の補助について

このたび、「北海道消防設備協会苦小牧・室蘭支部」の社会貢献事業として善意による初期消火活動で、個人の消火器を使用した町民に、無償で消火薬剤の詰替えまたは新しい消火器の交付を行う取り組みが始まりました。

日高中部消防組合では、初期消火活動の促進と使用された消火器の所有者の負担軽減の観点からこの事業の推進に協力します。

○補助対象例

- 近所のゴミステーションで発生した火災を自宅の消火器を使って消火した。
- 隣の住宅で発生した火災を消火するために自宅の消火器を使用した。

○補助対象外

- 応急消火義務者（火災を発生させた方、火災が発生した建物の居住者など）が所有又は管理する消火器
- 法律で設置された消火器など、使用状況で対象外となる事例もあります。

○申請について

手続きは消防職員がご案内しますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

●問い合わせ先：日高中部消防組合

消防本部警防課 ☎ 0146・45・0160
消防署新冠支署 ☎ 0146・47・2666

役場からのお知らせ

- Niikappu Town Office Information -

保健福祉課健康推進係からのお知らせ

～からだりセット講座のご案内～

お腹まわりや運動不足が気になるけれど、毎日忙しくて自分の健康管理は後回し…という方にお勧めの講座です。全10回のプログラムを通して、楽しく体内年齢の若返りを目指しましょう！前半は夜の部、後半は昼の部で開催します。日中は仕事で忙しいという方や、“出産前の体型に戻りたい”という子育て中のお母さんにもおススメです。過去に参加経験のある方や全ての回に参加できない方も大歓迎です。

申込みお待ちしています！

○期日 夜の部

平成30年6月21日（木）・7月19日（木）
8月23日（木）・9月27日（木）10月18日（木）

○期日 昼の部

平成30年11月16日（金）・12月18日（火）

平成31年1月18日（金）・2月21日（木）・3月15日（金）

○時間 夜の部 18時～20時 昼の部 10時～12時

○場所 保健センター

※8月23日・1月18日は町民センター

○対象 町内に在住する30～64歳の方

○内容

- ①血液観察や血管年齢・脳年齢などの各種測定
- ②専門家による運動指導や栄養・歯科講座
- ③自分に合った目標を決めて生活習慣の改善に挑戦

○定員 限定12名

～日本脳炎予防接種のご案内～

- 平成28年4月より北海道でも日本脳炎の定期予防接種が行われています。
- 日本脳炎は、日本脳炎ウイルスが脳や脊髄に感染して発症し、高熱、頭痛、おう吐、けいれん、意識障害などの症状がでます。ウイルスに感染しても脳炎にならない人がほとんどですが、日本では過去10年間に56人が発症し、3人が亡くなっています。
- ワクチンを接種することで、体の中に日本脳炎への抵抗力（免疫）ができ、日本脳炎にかかるないか、たとえかかるても軽くすみます。流行時期の夏になる前に、ぜひ予防接種を受けましょう。

○対象者

- ①平成27年4月2日～平成28年4月1日生まれの方には、今年の4月に個別でご案内しております。
- ②平成19年4月2日～平成27年4月1日生まれの方には、昨年度個別でご案内しておりますのでご確認ください。
- ③平成19年4月1日以前生まれ～20歳未満の方で、接種を希望される場合は予診票をお渡ししますので下記までご連絡ください。

●問い合わせ先：

保健福祉課保健福祉グループ健康推進係
☎ 0146・47・2113

農業者年金受給者の皆様へ

～現況届は必ず提出しましょう～

農業者年金受給権者の皆様は農業者年金基金から届きました「現況届」につきまして氏名などの必要事項を記入し、6月30日までに農業委員会へ提出してください。

現況届の提出がないときは、11月の支払いから現況届が提出されるまでの間、年金の支払いが差し止められますのでご注意願います。

●問い合わせ先：

農業委員会 ☎ 0146・47・2472

保健福祉課福祉係からのお知らせ

～介護職員初任者研修・実務者研修受講費用の助成について～

当町では平成29年度より介護職員初任者研修の受講費用を助成しておりますが、平成30年度からは実務者研修の受講費用も助成いたしますので、同研修を受講された方は下記要領にて申請願います。

○対象者

- ・新冠町に住所を有する方
- ・介護職員初任者研修又は実務者研修の受講を平成30年度中に終了した方
- ・町税などを滞納していない方

○助成対象経費

介護職員初任者研修又は実務者研修の受講料（テキスト代含む）として助成対象者が負担した額

○助成額

受講に要した費用の3分の2（上限5万円）

○申請期限

平成31年3月31日まで（平成30年度受講分）

●問い合わせ先：保健福祉課保健福祉グループ ☎ 0146・47・2113

新冠百話

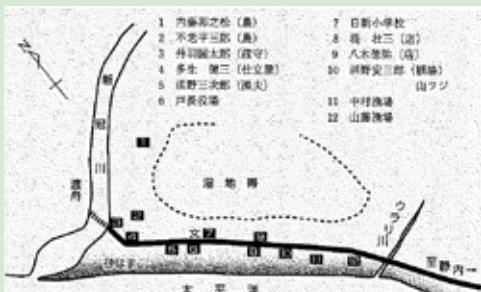
新冠にまつわるお話しを集めた

第二話

「明治14年頃の新冠」（要約文）

新冠町は、明治14年に初めて戸長役場が設置された年を「開基」としています。当時の役場の責任者である戸長は、「上林準太郎」という青森県出身の若干33歳の人物でした。この頃の新冠郡は、11の村がありました。記録によると、新冠郡全体で120戸、600人くらいの人口規模があつたと推定されています。

当時の産業形態はどのような様子だったのでしょうか。各記録から読み解くと、農業は主要産物に、ヒエ、アワ、バレイシヨ、大豆などがあり、水稻は明治10年前後に初めて行われたようです。漁業は、現在の本町地区にあつた中村漁場や山藤料場が繁栄



明治18年頃の新冠市街
(新冠町史の記録から作成)

明治14年頃は、役場が設置され、各産業や教育が萌芽し、現在の新冠の基盤がこの頃に形成されたとも見てとれます。しかし、まだまだ情報不足の感もあり、今後の調査しだいでは新しい発見があるのかもしれません。

この頃は「駅通所」と改められ、交通の拠点となっていました。交通のために使う馬を飼育していたり、新冠川の対岸を往来する渡舟業も行っていました。

明治18年、新冠で初めて学校が設置されます。地域住民の尽力により、現在の本町多目的交流センター付近に「日新小学校」が開校します。この学校は新冠小学校の前身となり、後に次々と開校する各学校の元になるものです。この頃、新冠の大部分は軍馬を育成する「新冠牧馬場」がすでに開設されています。当時、エゾオオカミの被害や、蝗（いなご）の大発生など、数々の惨事がありました。「エドウイン・ダン」というアメリカ人を招聘し、西洋農法を取り入れながら大規模に牧場を運営していました。

しており、イワシ、タラ、ナマコ、サケ、マスが多くとれていました。林業もこの頃からはじまっており、林木の払い下げに関する記録が残されています。商業では、毛皮や煙草、酒類を取扱う店があり、旅館を経営している人もいました。

前回の連載文で紹介した「新冠会所」は、この頃は「駅通所」と改められ、交通の拠点となっていました。交通のために使う馬を飼育していたり、新冠川の対岸を往来する渡舟業も行っていました。

シートベルトの全席着用

- 同乗者の着用はドライバーの義務
- 車外放出により致命傷の危険も
- エアバックは補助装置

静内警察署

火災・救急出動状況			() かっこ内は前年同期
区分	火災件数	救急件数	
5月	0件(0件)	29件(18件)	
30年1~5月	0件(3件)	133件(105件)	
交通事故発生状況			() かっこ内は前年同期
区分	発生件数	死者	傷者
5月	2件(0件)	0人(0人)	2人(0人)
30年1~5月	4件(2件)	0人(0人)	5人(3人)

人の
うごき

(平成30年5月末現在)

人口	5,602人	(前月比 - 2人)
男	2,747人	(前月比 + 4人)
女	2,855人	(前月比 - 6人)
世帯	2,765世帯	(前月比 + 1世帯)